

環境破壊の懸念

ダム建設にともなう動植物や水質等、環境への影響は、現在大きな関心となっています。大滝ダム建設では、定期的な調査を行い継続的なデータの収集に務めています。



ケグワ(奈良県指定天然記念物)



ケグワ: クワ科の落葉高木で、本州では和歌山県と中国地方、四国、九州及び朝鮮半島南部の山地に自生することが知られていましたが、奈良県中部にも産することが判明しました。

ケグワの特徴



ケグワの葉(表)



ケグワの葉(裏)

特徴は、葉の上面に粗毛があってざらつき、また葉の下面は毛が多く、特に脈状には短毛が密集しています。

魚類の生息状況

平成4年の調査では、アユ、アマゴをはじめとする21種類の魚類が確認されました。なお、優占種はカワヨシノボリ、アブラハヤ、ウグイ、カワムツです。また、オオクチバスについては、奈良県内の吉野川で初めて確認されました。



アマゴ



アユ

漁業補償

大滝ダム建設にともなう漁業権の一部消滅及び制限等にもなう補償を川上村漁業協同組合、及び吉野漁業協同組合に行いました(平成3年)。